

十二指腸竝ニ空腸憩室併存ノ一例

金澤醫科大學久留外科教室(主任久留勝教授)

相野田 芳 教

Yoshinori Aimita

(昭和18年10月21日受附) (大日本出版會登録番號1024)

最近胃痛患者ノ「エックス」線検査時、十二指腸憩室ヲ證明シ、手術時空腸憩室モ亦併存セルヲ認めタル稀有ナル症例ヲ得タリ。

患者ハ58歳女ニシテ約10年前ヨリ頑固ナル下痢ニ惱ミアリシガ、3~4年前ヨリ上腹部ニ梅干大腫瘍アルニ氣付ケリ。最近ニ至リ瘦削甚ダシク、悪心嘔吐ヲ主訴トシ昭和18年5月12日入院ス。診ルニ臍部ヨリ右上方斜ニ走ル橢圓形小兒手拳大硬キ腫瘍アリ、表面概ネ平滑ニテ克ク移動性ヲ保ツ。血液ハ輕度貧血アルモ血液像著變ナク、赤血球沈降速度中間値 54.2mm ナリ。尿ハ潜血反應陽性、尿ハ著變ナシ。胃液ハ褐色ニ濁濁シ總酸度6、遊離鹽酸陰性、乳酸潜血反應共ニ陽性ナリ。「エックス」線透視ヲナスニ、胃ハ下垂シ腫瘍ハ幽門部ニアリ、胃蠕動運動昂進シ逆蠕動運動ヲ認め得。十二指腸球部ハ稍變形ヲ呈スルモ明瞭ニ現出ス。特異ナルハ、十二指腸空腸彎曲部ヨリ細莖ヲ以テ突出スル橢圓形鵝卵大袋様陰影ナリ。上層ハ空泡ニシテ、下部ヲ充ス「バリウム」層トノ境界ハ所謂張面形成(Niveaubildung)ヲナセリ。

胃痛ノ診斷ノモトニ久留教授執刀手術ス。上部正中線切開ニテ開腹スルニ、腫瘍ハ幽門部ヲ殆ンド環狀ニ侵セリ。然ルニ空腸上部ニテTreitz氏皺襞ヨリ肛門側30cmノ部ニ拇指頭大、更ニ其ヨリ8cm肛門側ニ大豆大憩室ヲ認め得タリ。共ニ腸間膜側ニ存在ス。胃切除ヲ實施シ憩室ハ除去スルコトナク腹壁ヲ閉鎖ス。

胃腫瘍ハ圓柱上皮細胞癌ナリ。術後經過順調ニテ第34日目退院セリ。尙手術後、術前「エックス」線寫眞ヲ精査スルニ、胃大彎下縁ニ接シ空

腸陰影走行ニ略一致シテ存在スル示指頭大空泡ハ、術前ニ於テ小腸ノ單ナル空泡ト思惟セラレタルモ、明カニ空腸憩室陰影ナルコトニ氣付ケリ。

由來十二指腸憩室ノ頻度ハ相當高キモノトサル。剖檢ニテハ、3% (Rinsmayer, Rosenthal) (Case⁽¹⁾ニヨル) 或ハ0.35% (栗原⁽²⁾)、
「エックス」線検査ニテハ、2.6% (宮本⁽³⁾) 1.2% (Case) 或ハ0.88% (田崎⁽⁴⁾) 等ニ認めラルト謂フ。其ノ發生部位ハ下行部特ニ乳頭附近ニ最多發シ下水平部、上水平部、下膝部之ニ亞ギ、本例ノ如ク十二指腸空腸彎曲部ニ發生スルハ稀有ナリ。空腸憩室ニ就テハ、報告例甚ダ僅少ナリ。コハ實數ニ於テモ少キハ事實ナランモ、臨牀症狀ノ原因タルコト稀ナルト、位置的關係ニ見逃サル、可能性大ナルニヨルト(五十嵐⁽⁵⁾)。Fraser⁽⁶⁾ハ空腸憩室ノ「エックス」線診斷ハ極ク稀ニシテ、十二指腸憩室ハ反對ニ手術的ニ發見セラル、ヨリモ「エックス」線検査ニテ屢々診斷セラル、ト言ヘリ。著者ハ本邦文獻ニ表ハレタル空腸憩室ヲ蒐集シ、年齢、性、數、發生部位、大サ、發見ノ動機、憩室ニヨル臨牀症狀及構造ヲ調査セルニ附表ノ如ク、其ノ症例14ヲ得タリ。而シテ老年者ニ多ク、14個ヲ最多發數トシ、Treitz氏皺襞ヨリ1m以內肛門側ニシテ腸間膜側ニ發生スルモノ大多數ナリ。最大ナルハ手拳大ニ及ビ、手術時發見セラル、場合殆ンドニシテ、「エックス」線ニヨリ診斷セラレタルハ1例ニ過ギズ。空腸憩室ヲ原因トスル腸閉塞症ヲ呈セル症例半數ヲ占ムルハ注目ニ價シ、眞性憩室ト假性憩室トハ略相半バス。

	報告者	発表年	年齢	性	憩室數	發生部位	腸間膜トノ關係	大サ	發見ノ動機	構造	憩室ニ因ル臨床症狀	摘要
1	(7) 岩 永	大正8年	55	男	3				手術時偶然	假性	無	
2	(8) 長谷川	大正8年	37	女	1		腸間膜反對側	鶏卵大	手術		腸閉塞症狀	憩室ノ腸管開口部ニヨル辨狀作用
3	(9) 八木 (10) 臺北帝大 病理教室	大正13年			10數個				屍體解剖		無	兩症例ハ同一患者ナラン
		昭和12年	55	男	14	十二指腸ヨリ空腸上部ニ亘ル 130cm 間	腸間膜側	自鶏卵大至豌豆大	死體解剖	眞性		
4	(11) 渡 邊	大正13年	40	男	2	空腸起始部ヨリ 45cm, 49.5cm	〃	共ニ胡桃大	胃癌手術	假性	〃	
5	〃	〃	45	女	1	〃 60cm	〃		手術	〃	腸閉塞症狀	憩室ガ他小腸ト癒着シ爲ニ小腸部分的捻轉
6	(12) 志 波	大正15年	45	女	1	十二指腸空腸皺壁ヨリ 30cm	〃	小鶏卵大	〃	〃	〃	憩室炎後ノ近接小腸ト癒着ト憩室内蛔虫
7	(5) 五十嵐	昭和10年	60	男	1	〃 40cm	〃	〃	〃	眞性	〃	慢性憩室周圍炎ヨリ小腸間膜ノ慢性炎症性肥厚ヲ來シ其ノ結果全小腸捻轉ス
8	〃	〃	49	男	1	〃 60cm	〃	鶏卵大	〃	〃	〃	
9	(13) 齋 藤 (14) 荒 卷	昭和10年 昭和11年	57	男	3	〃 25, 39, 48cm	〃	鶏卵大 雀卵大 鳩卵大	「エツキス」線ニヨリ發見胃癌手術ニヨリ確定	〃	無	兩症例ハ同一患者
10	(15) 長 福	昭和12年	20	男	1	「トライツバンド」ヨリ 25cm	〃	鷲卵大	手術	〃	移動性盲腸症狀	憩室切除ニヨリ治癒
11	(16) 中 尾	昭和13年	58	男	6	空腸上部		鷲卵大 乃至 手拳大	〃		腸閉塞症狀	小腸大部ノ軸捻轉憩室トノ關係不明
12	(17) 野 口	〃	65	女	1	「トライツバンド」ヨリ 80cm	腸間膜反對側	梅干大	〃		〃	憩室炎ヲ原發ト見ラルル小腸大部ノ軸捻轉
13	(18) 宮 澤	昭和15年	59	女	5	「トライツバンド」ヨリ 40cm カラ 30cmニ亘リ等間隔	腸間膜側	胡桃大	S字狀結腸癌手術時	眞性	無	
14	(19) 大 谷	昭和16年	59	男	1	〃 150cm	腸間膜反對側	長サ 10cm 太サ 腸管大	結腸肝彎曲部癌手術時	〃	〃	

別表(空欄ハ原著ニ記載ナシ)

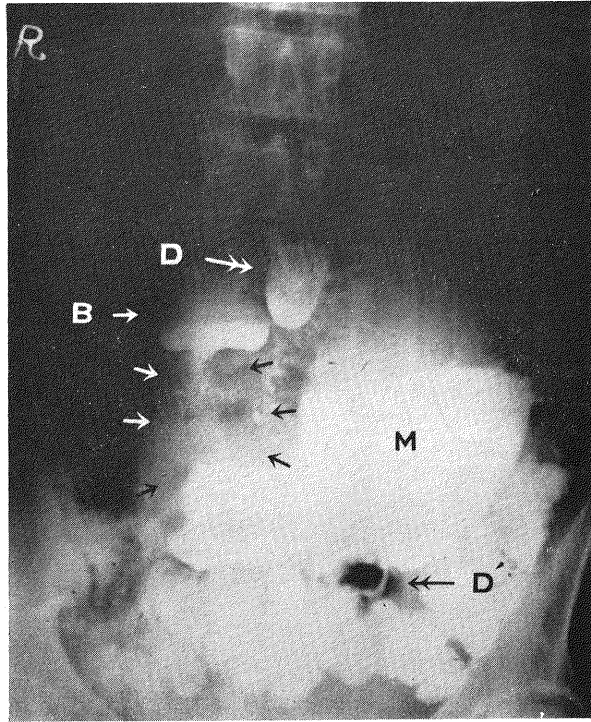
自驗例ハ發見動機ニ特異ナル點アルト共ニ、
十二指腸憩室ト2個ノ空腸憩室ト共存セル點ニ
於テ甚ダ興味アル症例ナリ。

最後ニ御指導御校閲ヲ賜ハリタル恩師久留教授ニ深
謝ス。

主 要 文 獻

- 1) J. T. Case, Journ. of Amer. med. Asso.,
,75 1463 (1920) 2) 栗原輝信, 東北醫學雜
誌, 16, 131, (昭和9年). 3) 宮本重行, グ
レンツゲビート, 11, 1722, (昭和12年). 4)
田崎勇三, 若杉不死男, 日本消化器病學會雜誌,
41, 501, (昭和17年). 5) 五十嵐勝三, グレ
ンツゲビート, 9, 1223, (昭和10年). 6)
Fraser, Brit. J. Surg., 21, 185 (1933)
- 7) 岩永仁雄, 日本外科學會雜誌, 20, 86, (大正
8年). 8) 長谷川吉彌, 中央醫學會雜誌,
146, (大正8年). 9) 八木金之丞, 臺灣醫
學會雜誌, 232, 73, (大正13年) 10) 台北
帝大病理學教室, 臨牀叢報, 7, (昭和12年).
- 11) 渡邊保, 日本外科學會雜誌, 25, 170, (大
正13年). 12) 志波鶴一, 東京醫事新誌,
2468, 1067, (大正15年). 13) 齋藤辰己,
日本外科學會雜誌, 36, 1849, (昭和10年).
- 14) 荒卷逸夫, グレンツゲビート, 11, 127, (昭
和12年). 15) 長岡浩, 福知善雄, 日本外
科寶函, 14, 790, (昭和12年). 16) 中尾
秀雄, 日本外科學會雜誌, 38, 1376, (昭和13年).
- 17) 野口利代三, 外科, 2, 1286, (昭和13年).
- 18) 宮澤政榮, 日本外科學會雜誌, 41, 366, (昭
和15年). 19) 大谷誠二, 北野病院業務報
告, 4, 63, 昭和16年).

相野田論文附圖



M 胃 B 十二指腸球
D 十二指腸空腸彎曲部憩室
D' 空腸憩室
矢ヲ以テ示シタル部ハ胃癌腫瘍部